

学 年	3年	教科・領域	学級活動	副読本P	P26・27
第4章1			家のまわり学校のまわり		

仙台市立東四郎丸小学校 3 学年

「通学路で地震が起きたら」

○ ねらい

通学路の危険な場所や地域の避難場所を確認したりする活動を通して、災害発生時に安全に避難するために注意しなければならない場所や安全な避難方法について考える。

学習活動及び発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 避難訓練を振り返る。</p> <p>今日の訓練は、避難の約束などを守って真剣に取り組むことができましたか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「お・は・し・も」を守って避難できました。 先生方のお話もしっかりと聞きました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童から意見を出させる中で、学校での避難のしかたや避難時の約束などを確認させる。
<p>2 学習課題を知る。</p> <p>【学習課題】通学路で、大きな地震が起きたら、どんなことに気を付けたらいいかを考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通学路で地震が起きたら大変ですね。 どうしたらいいのかなあ。 学校に逃げる？家に帰る？ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 通学路（学校のまわり、家のまわり両方）で、地震が起きたときに危険に感じるものや場所はないか、児童から意見を出させるようにする。 ◇ 意見があまり児童から出なかった際には、次のような視点を与えるようにする。 視点1：倒れてきそうな物 視点2：こわれそうな物 視点3：離れた方がいい所 など
<p>3 どんなことに気を付けたらいいかを考える。</p> <p>具体的に、どんなことに気を付けたらいいかな？どこにどう避難したらいいかな？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機があったら、そこから離れる。 家が近いときは、家に帰るようにする。 登校中なら、学校に行ったほうがいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 副読本P26～27に、学校のまわりや家のまわりで、気を付けなければならない所をまとめさせる。 ◇ 子ども防災マニュアルを参照し、登下校中に地震があったときの行動のしかたを説明する。 ◇ もしもの時に備えて、避難する場所や電話が通じないときの連絡の取り方などを家族で話す機会を持つことの大切さにも触れるようにする。
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートなどに、今日の授業の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 本時で分かったことや考えたこと等を書かせる。